

ま つかいぜ

大幅な人事異動

今年度は、昨年度までの同窓会長、山口洋一郎氏が理事長に、後任の同窓会長に倉澤条太氏が就任。長い間の懸案だった中学校同窓会が小学校より分かれ、新たに発足、独立し、山本三千代氏が新会長に就任しました。各同窓会のまとめ役である校友会会長には、藤野継基氏が選ばれました。

夏村充先生(理事長兼学園長)は顧問に、学園長には中学校長と兼務で中山洋司先生が就任されました。



平和学園小学校 同窓会長 倉澤 条太 (S42年小卒)

平和学園は昨年、創立60周年を迎えました。それにもなう記念事業も無事盛況のうちに終了することができました。これも皆様方のご協力によるものと心より感謝致します。

この度、平和学園小学校同窓会長として5年間、中心的な活動をなさった山口洋一郎さんが、今年度より平和学園理事長に就任されました。そのため急遽、後任として私が同窓会長を仰せつかることとなりました(かなり戸惑いがございます)。今までの活動的な委員会組織を継続し、各委員会のご協力を得、皆様方のご意見を伺い

平和学園中学校、アレセイア湘南中学校卒業生の皆様へ

アレセイア湘南中学校卒業生の皆様へ



長い間小学校同窓会と一緒に活動してまいりましたが、今回の「まつかいぜ」をもちまして独立いたします。
中学校同窓会長 山本 三千代 (S43年小・46年中卒)

この度、新しく同窓会長に就任致しました。私は幼稚園から高校まで平和学園に学び、卒業して30数年が経ちました。現在の学園は、中学校舎も新しく、たいへん立派な学園にすっかり変わってしまっただけには驚きました。また、昨年は

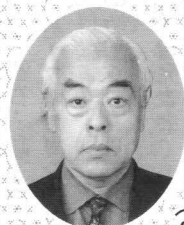
よろしく

平和学園小学校 同窓会長 倉澤 条太 (S42年小卒)

ながら活発な同窓会活動を続けていきたいと思えます。皆様、どうぞ宜しくお願い致します。

私は昭和42年度、平和学園小学校を卒業致しました。最近皆様は平和学園にいらしたことがありますか? 私は久しぶりに学園を訪れた時、なつかしさと共に、歴史と伝統を守りながら近代化を進め、着実に歩んできたことを強く感じました。今年度も、ホーム・カミングデーを平和学園小学校PTAのバザーに協力しながら実施致します。なつかしい想い出を語り合いませんか。皆さん、たまには母校、平和学園で会いましょう。

全卒業生の力を発揮しよう!!



校友会会長 藤野 継基 (S31年小卒)

私はこの度、吉田(旧姓服部)さん(S34年卒)の後、会長を拝命いたしました。どうぞよろしくお願ひ申し上げます。そして理事長に前小学校同窓会長、山口洋一郎さんが選出されました。

小学生の頃、村島学園長が「何れ将来は、卒業生に理事長を任せたい」と仰つた事が現実になり、我々卒業生にとつて非常に喜ばしいことだと思えます。そのような意味から、私も微力ながら全卒業生の「力と知恵」をお借りし、山口理事長を全力でサポートしていく所存です。その第一歩として、幼稚園から小学校へ、小学校からアレセイア中学校へ、内部進学者75%以上を目標に頑張りたいと思えます。そのため卒業生の子弟やお孫さん達の入学が増えるよう、細かな情報公開をし、お互いの関係を密にして、入学者拡大に「力を発揮」したいと思います。今でも残るよき伝統の上に、尚一層の飛躍の「時」がきました。「さあ、学園関係者と共に、全卒業生の力を発揮しようではありませんか。」村島先生も天国からあの笑顔で、見守っていてくださると信じています。

60周年を迎えいろいろな催し物も開催されました事は、大変うれしく思いました。それにもない、同窓会の運営もお一層充実した物にしていかねばならないと改めて身が引きしまる思いでございます。中学校同窓会は昨年まで小学校と共に運営させて頂きましたが、本年度より独立し、平和学園・アレセイア湘南中学校同窓会として運営をして行く所存です。中学校は1995年(平成7年)に再出発し、1999年(平成11年)にアレセイア湘南中学校として、校名変更されています。また、翌年高等学校も校名変更(アレセイア湘南高等学校)となり、中高一貫教育として出発致しました。現在、同窓会は中学校、高等学校とそれぞれに独立しており、将来はアレセイア湘南中等高等学校同窓会と一体化していかねばならないと考えております。まだまだ未熟な私ですが、皆様のご協力を得て、精一杯頑張つて行きたいと思っております。最後になりましたが、平和学園のますますの発展と、会員皆様の更なるご活躍とご多幸を祈念致します。ごあいさつとさせていただきます。

バトン・タッチ

学校法人平和学園理事長 山口洋一郎
前小学校同窓会長 (S34年小卒)

同窓会の皆様、先ずは、昨年度の創立60周年記念事業ならびに寄付にご協力いただき心から感謝いたします。おかげさまで、多くの事業を好評の内に終えることが出来ました。特に、11月4日の記念祝典(創立者村島帰之先生の記念碑除幕式、養老孟司先生の講演)、そして12月9日の平和学園卒業生である沼尻めぐみさんのパイプオルガンコンサート等、それぞれの

会場に溢れんばかりの卒業生・保護者・地域の方々が来場し、素晴らしいイベントとなりました。さて、私は小学校同窓会長を5年間させていただきましたが、2007年度世話人総会において昭和42年卒の倉澤条太氏に引き継ぐことになりました。長い間、ご協力をいただき衷心より重ねて感謝いたします。と申しますのは、3月18日の学校法人平和学園の理事会におきまして、先輩諸兄のおられる中、私が理事長に選任され、この4月から就任いたしました。

本当に突然のことでしたが、夏村前理事長より、ある日打診を受けました。創立者の村島先生が「いつか、平和学園の卒業生が運営に携わってくれるといいな」とおっしゃったそうです。私には任が重く随分悩みましたが、私に出来る限りの事をさせていたただこうとお引き受けいたしました。小学生のころ病床の村島先生をお訪ねした

折に、ニコニコとされていたのを今でも記憶していますが、この様な事になろうとは天国で先生はどんなお顔をしていたら嬉しいでしょう。

倉澤新会長は、温厚で、指導力があり、誠に会長にふさわしい人物です。私は倉澤さんとは地域社会で長い間に一緒に活動してまいりました。若干腹の出たやさしいオジサンですが、腕のたつテニスプレイヤーでもあります。是非、皆様、新会長に絶大なる支援をお願いいたします。

また、吉田前会長が創設された学園全体のまとめ役である平和学園校友会も平和学園・アレセイア湘南校友会と改称しました。校友会(藤野継基会長)は、小学校同窓会、中学校同窓会(山本三千代会長)、高校同窓会(遠藤大知会長)の三会と、それぞれの三役によって構成され、アレセイア湘南・湘南高等学校・平和学園小学校を人材・財政面で強力に支援していただくことになりました。

平和学園・アレセイア湘南は、多くの課題を抱えています。が、今確実によい方向へ変わろうとしています。非力ではありますが、卒業生である私が理事長を担います。どうか、倉澤新会長の小学校同窓会を応援していただき、同様に、平和学園・アレセイア湘南を応援してください。

同窓生が入れなくなる教育 アレセイア・クオリティの試み

学園長・中学校長 中山 洋司

同窓生の皆様こんにちは。昨年は60周年記念に際し、ご寄付やご参加、そしてご奉仕をしていただき心より感謝申し上げます。

本学園は、創立以来面倒見のいい学校として評価を受けています。中学・高校ではその伝統を崩すことなく、さらに教育の質を高めていくことを願い、「面倒見のいい教育 アレセイアクオリティ」を実現しよう!」を今年度より目標に掲げました。

私は、教育の目的は自律であると考えています。このことから面倒見のいい教育は、子どもが自律する方向に導くものでなければなりません。更に本校はキリスト教主義の学校ですから、キリストの愛を基本にすえて生徒にかかわり育んでいくことが大切です。

世の中は、何でも受容れる優しさのみがキリストの愛と誤解している節があります。しかし聖書には、自分を厳しく律する厳しさの愛がそこかしこに書かれています。優しさと厳しさの愛が混在しているのがキリストの愛といえます。このように面倒見のいい教育は、二つの愛を持って自律させていく方向に生徒を育てることと捉えています。

今年度は、『親だけでは難しい学習としつけ面倒見ます』という意気込みで、学習としつけで面倒見のいい教育を具体化しました。それを紹介しましょう。

5つの学習クオリティ

- ①これが学習のポイントですと、教科目標を明確にして授業をします。
- ②シラバスとアレセイア問題集を発行して、学習習慣と学力を保障します。
- ③特性教育を進め、やる気のある子は伸ばします。
- ④出口(進路)はとことん面倒見ます。
- ⑤個人ポートフォリオと学習カウンセリングを行い、個々人にあった進路を見つけます。

5つのシツケクオリティ

- ① 具体的なしつけ目標を決めて徹底します。
 - ② ごみゼロ・壁ヒカ校舎を心掛け、きれいな環境の中できれいな心を育てます。
 - ③ チャイムと同時に授業を心掛けます。
 - ④ アレセイア賞を出し、生徒を誉め・認め・誇りを持たせるようにします。
 - ⑤ 一年間大切にしたいことを決め、目標ある人生を送る姿勢をつくります。
- 皆さんいかがでしょうか。アレセイアは、さらに魅力ある学校へと進化します。ぜひ皆様のお子様やお孫様をアレセイアへ……お待ちしております。

2008年度児童募集

第一回小学校入学選考

- ◆ 願書受付 9月22日(土)～10月5日(金) 土・日・休日を除く
- ◆ 募集人員 22名
- ◆ 選考日 10月23日(火) 午前10時

第二回小学校入学選考

- ◆ 願書受付 10月19日(金)～11月9日(金) 土・日・休日を除く
- ◆ 募集人員 5名
- ◆ 選考日 11月14日(水) 午後2時

※オーフンスクール

- 9月22日(土) 8時50分～12時30分
 - 9月22日(土) 9時30分より
- 学校説明会

公開行事予定

湘南からの教育の発信	8月25日(土)
平和をともに	9月26日(水)～28日(金)
運動会	10月27日(土)
バザー	11月3日(祝)
パイプオルガンコンサート	12月8日(土)
クリスマス礼拝	12月14日(金)
学習発表会	3月7日(金)
お話会(毎週火曜日)	9時15分より

*学校見学・進学相談などは随時承っております。電話でのご予約をお願いいたします。
TEL 0467(87)1662

こんにちは

小学校長 岡崎 一実

平和学園小学校卒業生のみなさま、こんにちは。創立60周年の節目の年となった2006年度をふりかえりながら、小学校のようすを紹介いたします。

去る11月4日には、全学あげての創立60周年記念祝典が挙行されました。祝典プログラムの一つである記念礼拝には、4～6年生の合唱グループが小学校代表として参加し奉献合唱をおこない、また、村島帰之先生の記念碑除幕式には児童会代表が参加して除幕をおこないました。

その前日、11月3日には恒例のバザーが開かれ、小学校は多数の来場者でにぎわいました。このバザーは同窓会のホームカミングデーとしても認知されてきて、多くの方が同窓会の会場に顔を見せてくださったと聞いています。(バザーの売り上げから頂戴したご寄付は、小学校PTAからのものであわせ、「選択音楽」の授業で使う金管楽器の購入、音楽室の机椅子の更新に使わせていただきました。ありがとうございます。)

前後しますが、小学校グラウンドにあった6号館(高小学校舎)が夏休み中に解体撤去され、子どもたちの遊び場がぐんと広がり整備されました。学園の名物だった松の木やグラ

下の砂がなくなってしまうのは残念ですが、休み時間も放課後も、外で遊ぶ子どもたちの元気な声がひびいています。2006年度の卒業式は3月17日におこなわれました。

同窓会からは記念品として名入りの革製ペンケースを贈っていた。27人の卒業生(うち17人がアレセイア湘南中学校に進学)は喜びにあふれて学び舎を巣立っていきました。これで小学校の卒業生は1551人となりました。そうそう、卒業式ではいまでも讚美歌「み神のたましいし」を歌っていますよ。

4月10日、26人の新一年生をむかえ、全校児童158人で2007年度をスタートしました。小学校内の人事異動は今年度はありませんでした。2月に浦元優子先生が、6月に松本亜紀子先生がご結婚され、それぞれ新しいご家庭をもたれています。

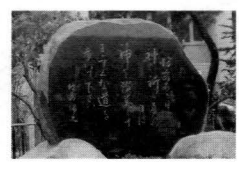
今年度から、小学校運営の重点として「読書活動」に取り組んでいます。本が大好きな子になってほしいと願い、図書室の整備、蔵書の充実はもちろん、子どもと本をつなぐさまざまな活動をしかけていくつもりです。同窓生のみならずのお力を拝借することもあるかもしれません。今後ともご支援ご協力のほど、どうぞよろしくお願いいたします。

*学校ブログ「平和の窓」を開設して一年がたちました。小学校のようすを毎日お届けしています。どうぞご覧になってください。

11/4 午前
創立者 村島帰之先生記念碑 除幕式
元平和学園宗教主任 岡崎晃先生よりお話がありました。
「喜びのある日は神に祈り
喜びの日は神を賛美して
まつすくな道を歩いてください」
この学園で学んだ全ての人たちは聖書を通してイエスキリストに、また真の神様に出会い、神と共にそれぞれの人生を歩んで欲しい：というメッセージです。

昨年度創立60周年記念事業について

11/4 午前
創立者 村島帰之先生記念碑 除幕式
元平和学園宗教主任 岡崎晃先生よりお話がありました。
「喜びのある日は神に祈り
喜びの日は神を賛美して
まつすくな道を歩いてください」
この学園で学んだ全ての人たちは聖書を通してイエスキリストに、また真の神様に出会い、神と共にそれぞれの人生を歩んで欲しい：というメッセージです。



11/4 午後
「ひとを育む」講演・養老孟司氏
一般の方々を含め、満員の会場で「この世の中から石油を無くしたら、地球環境がどのように良くなるか」ということが中心のわかりやすく、有意義なお話でした。その後、平和ファミリィの集う楽しいパーティーが開かれ中高生のハンドベルの演奏などがあり、なごやかな一時でした。



12/9
クリスマスバイブオルガンコンサート
沼尻めぐみ(S34年小卒、40年高卒)さんのパイプオルガンコンサートが、あいにくの小雨にもかかわらず大勢の来場者を迎え開催されました。

以下は、理事長、学園長を退任された顧問になられた夏村先生が沼尻めぐみさんへ送られたお手紙です。コンサートの情景が目に見えるようです。

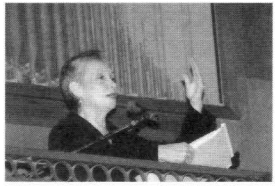
めぐちゃんへ!!

前理事長 学園長 現顧問 夏村 充

パイプオルガン・コンサートのアンケートの集計ができました。○×の記号で答えて戴いたものは除き、文章で書いていただいたものだけをまとめてみました。コンサートは大成功でした。本当に、本当に、ありがとうございます!

学園のオルガンの音色は私にとっても、これがパイプオルガンだ」と20年このかた慣れ親しんできました。しかし、この度の、めぐちゃんの演奏を、初めて聴くもののように、学園のオルガンで聴きました。貴女の奏するその音色には驚きました。教会音楽家にして初めて可能な音を、あのオルガンから引き出してくださったのです。そして、びっくりしました! 新聞記事の見出しも、やはり、オルガンの音色についてでした!! 決して私の独りよがりの「素人評」であったものではなく、聴いていた人々の中にも、同じくその音色に感動していた仲間がいたのですね。驚きでした。

めぐちゃんは、「如何なる理由があっても、プロとして演奏の中断は、許されない」と言っておられましたね。しかし、あのとき曲の演奏直後、本邦初演の曲、しかも手書きの見慣れない楽譜の譜めくりの大変な苦勞であることをお話しなさり、市毛さんの労に報いておられましたね。そして次の瞬間、聴衆すべてが大きな拍手を送りました。覚えていらっしゃるでしょうか、あのときの情景を。そこで、改めてのquestionです。聴衆



の拍手は、一体どなたに対して、だれに対して送られたものだったのでしょうか? 確かにあのとき、市毛さんの労を讃えて、貴女は皆さんの拍手を誘いました。それでも聴衆は、めぐちゃん、貴女の、市毛さんへのいたわりを示された、あなたという音楽家に対して拍手を送ったのです。市毛さんに対するあたたかい、寛大な心に対して、聴衆は感動して拍手を送ったのです。そうです! めぐちゃんに対して送ったのです。皆さんは、貴女のヒューマンな、natural attitudesに感動したのです。市毛さんに拍手を送るよう誘った演奏者の貴女の姿。それは、言葉を越えて美しかった! 聴衆はその貴女に拍手を送っていたのです。すてきな演奏者。瞬間、そこにhuman beautyを聴衆は見たのです。一流であるとは、技術を越えて、なおその人柄が一流であることです。学園の卒業生である貴女から、こんなにも大きな、すごい本物を見せていただいた。嬉しかった! 本当にありがとうございます!!

一昨日も、山口洋一郎氏とお会いした折、異口同音。「あの演奏会での、あのオルガンの音、音色はよかったです。よかった。準備の苦勞のすべてが、十二分に報われた。あの音色で」と、改めて(山口さんと私の)男二人、同じことで感激しあったものでした。同級生とは、良いものですね。教師たちが、どうもがいても、皆さんの仲間同士のようには参りません。皆さんの仲間、その友情が羨ましい。時代を越えて幾星霜。いつまでもそのようであってください。これからも存分に、ウィーの信仰のよき支えとなる演奏を続けてください。では、お元気で!!

白球の友情50年同級生の縁で親善試合

(S31年小卒) 高垣 徹蔵

もう1年前のことになります。昨年8月19日、東京都立杉並高等学校グラウンドで、同校と武蔵工業大学第二高等学校(長野県塩尻市)の親善野球がありました。

「よその学校の試合のことがどうして『まつかぜ』に載るの?」という疑問はごもつともです。話は3月の平和学園小学校卒業50周年記念クラス会の席に遡ります。

都杉並OBで野球部の面倒を見ていた渡貫浩夫君が、武蔵工大二の野球部監督・大輪弘之君に「一度試合をさせてくれないかな?」と持ちかけたのです。長野県の上位校常連の武蔵工大ですから、普通ならなかなか相手をしてもらえないようです。「夏休み後半には関東遠征を考えてるから、いいよ」。大輪君快諾でした。



後、武蔵工大二(当時は信州工業高校)の教師・監督に。数年前には平和学園を拠点に春の合宿を張ったこともありました。武蔵工大二は何回か長野大会決勝に進出しているのですが、甲子園への壁は厚いようです。「大輪が出られたら、甲子園でクラス会!!」がほくらの合言葉。クラス会の度にハッパを掛けているのですが、定年まであとわずか。今年こそ何とか実現してほしいものです。アレセイアの野球部も昨年が初陣でした。平和の縁で、都杉並や武蔵工大の胸を借りてみませんか?

同窓会に集まろう!

学年はちがっても、いつも一緒に遊んでいた上下の学年の人たちの同窓会が7月28日(土)に開かれます。第69回生(1986年卒)から第74回生(1991年卒)を中心に、これより上下の学年の方や兄弟姉妹の皆様もお誘い合わせの上、奮ってご参加下さい。場所は茅ヶ崎市近辺を予定しています。

連絡先/柴 創介(第71回生)
TEL 090(4000)1292
e-mail:kesusobashi@yahoo.co.jp

バザーとホームカミングデー

今年も11月3日(土祝) 11時より小学校バザーとホームカミングデーを行います。どうかみなさん、なつかしい母校にお出かけ下さい。

寄贈品などありましたら、例年通り左記にお送りくださるか当日10時まで直接ご持参下さい。これは会費以外の貴重な収入源です。小学校の子どもたちのためにも使っております。宜しくお願ひします。

【寄贈品送り先】

〒253-0031
茅ヶ崎市富士見町5-2
平和学園事務局内

竹崎真佐子宛
TEL 0467(87)0174

チャリティコンサートのお知らせ

ニューヨークのジュリアード音楽院卒業後アメリカで活躍している、岡田乃野子さん(S63年小卒)が9月1日(土) 母校でヴァイオリンコンサートを開きます。尚、彼女は岡田(旧姓橋本)枝画子さん(S34年小卒)のお嬢さんです。(詳しくは同封のチラシ参照)。

チケットの売り上げは全額アジアの国々の子供たちに送られます。特に、有村すみれさん(H13年小卒)のお母様スワリさんが支援をなさり、平和学園でも図書室を寄贈したラオスの学校の設備に役立てることになっています。どうか皆様、お誘い併せの上チャリティコンサートにお出かけ下さい。

平成18年度 会計報告

中学同窓会より	30,000
維持会費入金(270名)	308,000
入会金(27名×10,000)	270,000
バザー売上	142,120
60周年事業寄付金(260名)	1,292,000
預金利息	495
前期繰越金	2,520,418
合計	4,563,033

維持会費振込手数料	26,790
2006年度校友会会費	81,000
「まつかぜ」5号発行費	171,590
小学校PTAへ寄付	50,000
ホームカミングデー接待費	2,000
通信・印刷費	110,090
会議活動費	71,341
卒業生への記念品代	56,700
消耗品雑費	210
60周年チラシ発送費	123,410
60周年寄付金校友会へ	1,281,000
60周年寄付金実行委員会へ	11,000
次期繰越金	2,577,902
合計	4,563,033

お礼とお願い

昨年度は、60周年記念事業のためのご寄付を、多くの方からいただき本当にありがとうございました。また、今年度も維持会費の納入をお願い致します。本年度からは、中学同窓会が独立することになりましたので、小学校同窓生のみのお費となり、減収が予想されます。どうか、お忘れなきよう、宜しくお願ひ申し上げます。

尚、昨年から振込手数料が値上げになりましたので、2年分2000円を一年おきに納めていただくことになりました。また例年通り、22歳以下の方々は、免除です(振込用紙が同封されていますが、お願ひしません)。

今年度人事

平和学園理事長	山口 洋一郎
平和学園理事	夏村 充
平和学園学園長	中山 洋司
アレセイア湘南高校長	飯塚 正秀
アレセイア湘南中学校長	中山 洋司
平和学園小学校長	岡崎 一実
平和学園幼稚園長	橘 明子
退職	
	夏村 充
	吉川 友浩
	加地 フジ子

編集後記

今回も、中学同窓会独立や理事長交代などのニュースがあったためこの時期の発行となりました。

次号には、もつと会員の皆様方の記事を掲載したいと思います。どうか投稿をお願ひします。

岡田・高屋・細矢